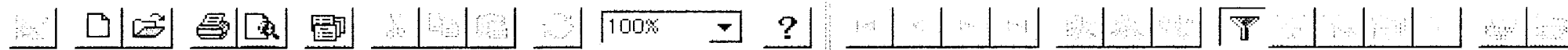


- 妊婦への催奇形情報の提供とカウンセリングの実際
- 医薬品情報の調査に基づくカウンセリングの必要性
- 妊婦の薬物使用例データ集積の必要性和有益性



薬効別使用頻度上位20

順位	薬効名称	使用件数	順位	薬効名称	使用件数
1位	解熱鎮痛消炎剤	2558	11位	抗アレルギー剤	620
2位	総合感冒剤	1599	12位	ビタミン剤	603
3位	抗生物質(Pc、Cs)	1428	13位	気管支拡張剤	592
4位	消化性潰瘍用剤	1346	14位	制吐剤	581
5位	抗ヒスタミン剤	683	15位	精神神経用剤	546
6位	漢方製剤	661	15位	合成抗菌剤(ニューキノロン系)	546
7位	消炎酵素剤	660	17位	止しゃ剤、整腸剤	499
8位	鎮咳剤	632	18位	鎮咳去痰剤	484
9位	催眠鎮静剤、抗不安剤	624	19位	去痰剤	387
10位	健胃消化剤	623	20位	副腎皮質ステロイド剤	366

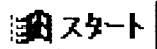


妊娠と薬データ[カード1]

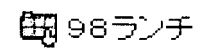
受診年月		相談者性		使用開始		時期危険	
氏名カナ		出産予定		使用終了		時期評価	
登録番号		夫年齢		使用日数		総危険点数旧	
妻年齢		妊娠回数		総合判定		総危険点数新	
妊娠有無		処方者		判定理由		判定理由	
結婚年齢		コメント					
分娩回数		他医意見					
最終月経		妊娠転帰		分娩週数			
特記既往		新生児体		新生児性			
特記家族		新生児異					
紹介医師		併用薬剤		薬危険評			
使用目的		奇形の有					
薬剤名		問題点					
成分名1							
成分名2							
成分名3							
薬効分類							
薬危険点数旧		カード番号					
薬危険点数新							

F1 を押すと、ヘルプが表示されます

検索 000001/021710件



テキストリーダー



The CARD - 妊娠と薬



13:45

ニューキノロン系抗菌薬

<虎の門病院の相談事例>

	絶対過敏期の 曝露例	健常児	先天異常を 有する児
ノルフロキサシン	57	55	2
オフロキサシン	89	87	2
レボフロキサシン	74	73	1
シプロフロキサシン	29	29	0
スパルフロキサシン	13	12	1
フレロキサシン	6	6	0
ロメフロキサシン	17	17	0
合計	285	279	6
(%)		97.9	2.2